

平成 26 年度運営実績

平成 27 年 2 月 16 日

ジャパンリンクセンター事務局

1. 全体方針

- 1) 平成 25 年度同様にジャパンリンクセンター運営委員会、システム技術分科会、対象コンテンツ拡大検討分科会、普及分科会を組織した。
- 2) 以下の新機能を備えた新 JaLC (JaLC2) を平成 26 年 12 月にリリースするためのシステム基盤構築および運用体制の構築を行った。
 - (1) 異版コンテンツの対応、
 - (2) マルチプルレゾリューション等の同一コンテンツが複数の場所にある場合への対応、
 - (3) 書籍や研究データ等のコンテンツへの対象拡大、
 - (4) 研究者 ID (Read&Researchmap、eRad、ORCID 等)、機関 ID (J-GLOBAL、KAKEN 等) などの識別子への対応
- 3) ジャパンリンクセンター新システム説明会を開催 (10/31) するなど、ジャパンリンクセンター新システムのリリースに向けた普及活動を実施した。

2. 委員会・分科会体制

以下の 3 分科会体制とした。分科会委員の委嘱は 5 月までに順次行った。

項番	分科会名	検討事項
1	システム技術分科会	<ol style="list-style-type: none">① JaLC2 の運用確立のに向けた体系的な検討② JaLC2 システムの機能の普及分科会への提示③ JaLC2 の運用後でできた利用機関からのフィードバックへの対応④ メタデータの拡張 (例えば書籍で流通している ONIX への対応)⑤ 登録支援 (登録 XML ファイルの形式チェック)
2	対象コンテンツの拡大検討分科会	<ol style="list-style-type: none">① 研究データへの DOI 登録実験プロジェクトの推進に係る検討
3	普及分科会	<ol style="list-style-type: none">① JaLC 各種説明ドキュメントの内容② 利用者向けの JaLC2 説明会③ Web サイトの構成・デザインの検討

3. 開発

平成 26 年度は平成 25 年度に開発した JaLC2 のリリースに向けて以下の作業を実施した。

項番	項目	内容
1	システム基盤構築	・ OS、ミドルウェア導入 ・ ネットワーク設定
2	プログラム導入	JaLC2 プログラム導入
3	データ移行	JaLC1 から JaLC2 へのデータ移行
4	連携テスト	外部システムとの連携テスト実施
5	会員向けドキュメント整備	会員向けの操作手引き等のドキュメント整備

4. 普及

JaLC の紹介、JaLC 利用の手引きを整備し DOI の利点を示した。また、12 月の JaLC2 リリースにあたり、JaLC2 リリースに向けた普及活動に重点を置いた。具体的には、利用マニュアルの整備を行い、ジャパンリンクセンターポータルサイトで公開した。

その他、「ジャパンリンクセンター活用のための対話・共創の場（第 1 回）～機関リポジトリのコンテンツへの DOI 登録～」、「ジャパンリンクセンター活用の為の対話・共創の場（第 2 回）～研究データへの DOI 登録～」を開催し、利用者の潜在的なニーズ等を把握し、より多くの方にご利用いただけるシステムの構築を目指した。また、「識別子ワークショップ ～JaLC、CrossRef、DOI、ORCID、そして・・・～」を開催し、DOI および JaLC の普及を図った。

5. その他

年度当初の計画には掲げていなかったが、国内で研究データを有する機関を公募により募り、「研究データへの DOI 登録実験プロジェクト」を結成し、DOI のテスト登録まで実施した。

－ 以 上 －